

# 増田地区 交流センター通信

発行・編集：  
 横手市増田地区交流センター運営協議会  
 (増田地区多目的研修センター内)  
 TEL 0182-45-5556  
 FAX 0182-45-5560



長かった冬もようやく終わり、暖かい春の息吹が感じられてくる時節となりました。何かと気忙しい年度末から新たな年度に向けて、心も晴れやかな気持ちになってきそうです。当地区交流センターも運営委員の改選の年を迎え、また新たな「増田地区交流センター」として頑張っていく所存です。今後とも「増田地区交流センター」をよろしくお願いたします。

## 事業実施報告



### 令和8年2月22日(日)「増田・冬まつり2026」 (増田地区交流センター)

冬の伝統行事の継承保存と地域の活性化を図ること等を目的として“増田・冬まつり”を今年も開催しました。午前9時から増田小学校グラウンドで古いお札や松飾り等をお焚き上げる“どんど焼き”が行われ、その後、田町若獅子会、福嶋梵天有志会、縫殿ためぐら会、増田梵天蔵蛸会による4本の大人梵天と増田小学校梵天部による3本の子ども梵天が、中七日町通りを会場に数々の妙技を披露してくれました。その近くでは、“あまざけ”や“おしるこ”のふるまいの他、“もちまき”も行われ、集まった多くの皆さんに大変喜ばれるイベントにすることができました。冬まつりにご協力いただいた皆さん、会場に足を運んで下さった皆さん、大変ありがとうございました。



そろいの法被で気合十分！



しっかり御祈禱してもらいました



1回目もちまき



増田梵天蔵蛸会

ジョヤサー！



縫殿ためぐら会

増田の梵天の  
真骨頂！  
素晴らしい  
妙技の数々！

小学生も  
頑張って  
くれました。



福嶋梵天有志会



田町若獅子会

2回目もちまき！盛り上がりました。

ジョヤサー！



増田小学校梵天部



## 令和8年3月4日(水)「押絵づくり講習会」 (増田地区交流センター)

江戸時代から昭和初期にかけて物資の集積地として商業が栄えた増田地区では、住民が押絵雛をつくり、節句などに飾って楽しむ文化がありました。押絵は、絵をパーツに分け、それぞれに綿をのせて布でくるみ、張り合わせてつくる立体的な絵です。その押絵雛の伝統文化を保存継承するための一環として、押絵づくり講習会を多目的研修センターで行いました。



### ◆◆ちょっと雑学◆◆

今年は、60年に1度の丙午（ひのえうま）の年です。「丙午の女性は気性が荒く、夫の寿命を縮める」といったような迷信が、江戸時代から根強くはびこって伝わり、1966年（昭和41年）には、出生数が約136万人で、前年の約182万人の25%以上にあたる46万人も減少し、翌年には約193万人にまで回復したというように社会に大きな影響を与えた年もあったようです。でも、実際には優しい女性が多いようですよ。今年はたくさんの赤ちゃんが誕生してくれるといいですね。

### 事務局から

私事で恐縮ではございますが、3月いっぱいを持ちまして増田地区交流センター長を退任することに致しました。任期中は多くの皆さんにこの上ないお世話になり、心から御礼申し上げます。今後は、当地区運営協議会委員の一人として、他の委員の皆さんと共に力を合わせ、微力ではございますが地区環境等の向上に貢献していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

増田地区交流センター長 千田幸咲

### ◆写真アルバム「写真で綴るなつかしい増田」有償頒布中

増田町文化財協会が刊行した「写真で綴るなつかしい増田」が東海林書店（中町）、増田の町並み案内所 ほたる（上町）において1,500円（税込み）で頒布しております。写真363枚、156頁5部構成の「時代の記憶がよみがえる懐かしき風景たち」を垣間見る、至極の写真アルバムです。ぜひお買い求めください。

